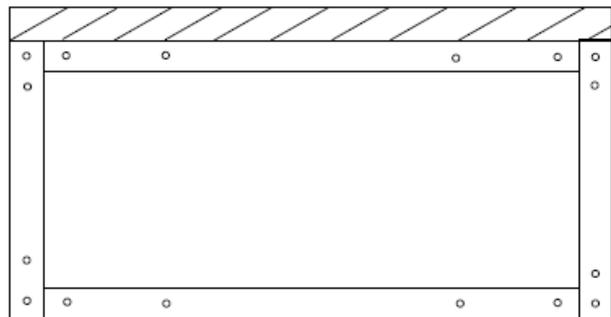


～不燃フィルムを用いた防煙垂壁～ パラスモークS パネルタイプ

施工要領書

パラスモークパーツ一覧

■本体パネル



※W寸法

W=1500

H寸法

H200~H1000に対応可能。
H1000以上はW1000×H1500が
最大寸法となります。

塩化ビニール樹脂
(防災認定品 t=0.5mm)

フラットバー W=12

L型チャンネル W=15 t=5
※全厚はリベット部含めてT7.0

■取付用ダボピン

◎ 本体パネル用・中間方立用
ステンレス棒

3mm × 21.5mm

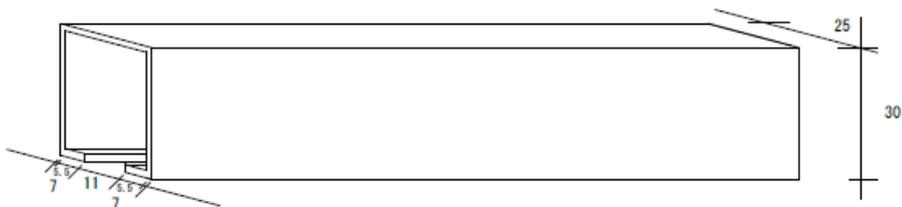


◎ 本体パネル用
ステンレス棒

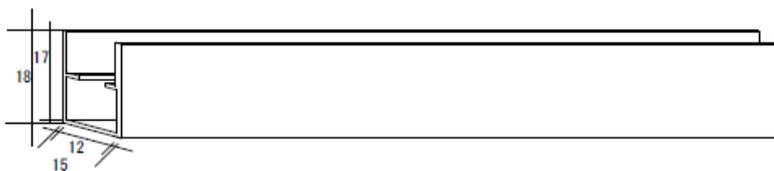
3mm × 13mm



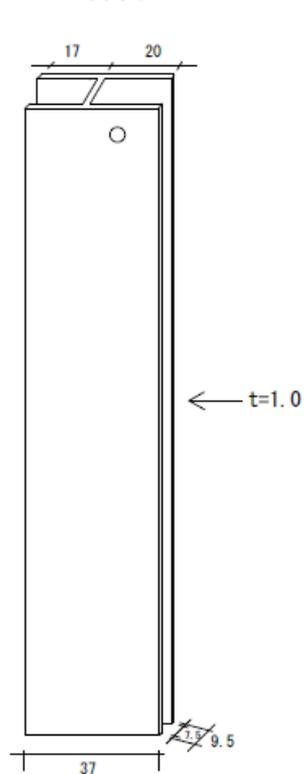
■上部レール (t=1.5mm)



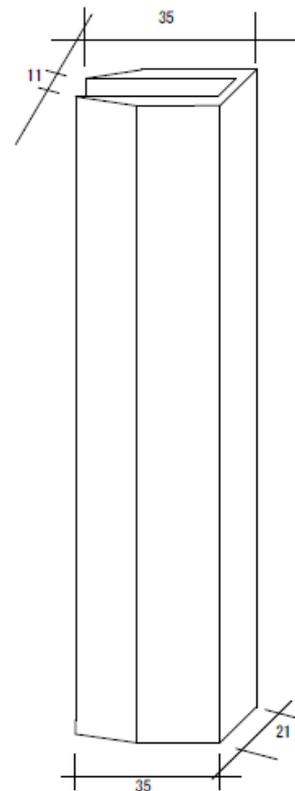
■下部レール (t=1.0mm)



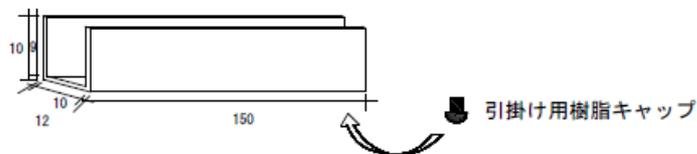
■中間方立



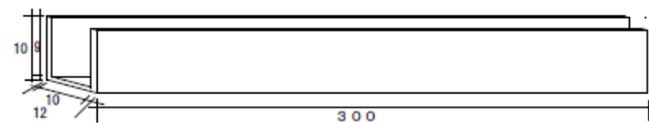
■端部方立

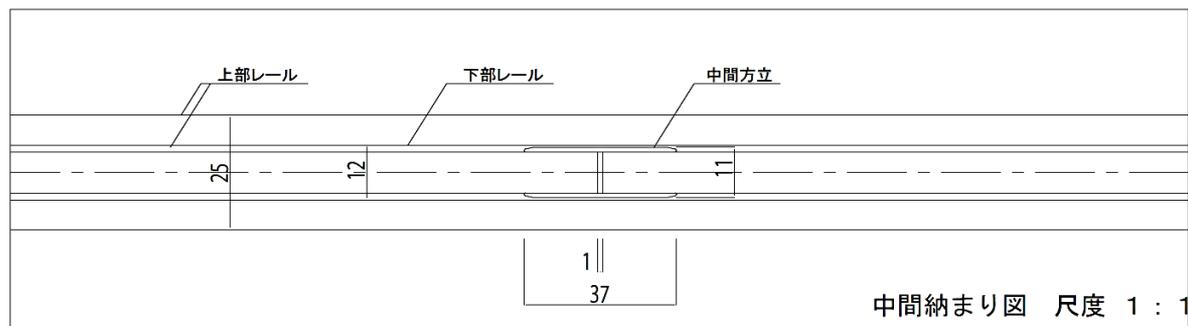
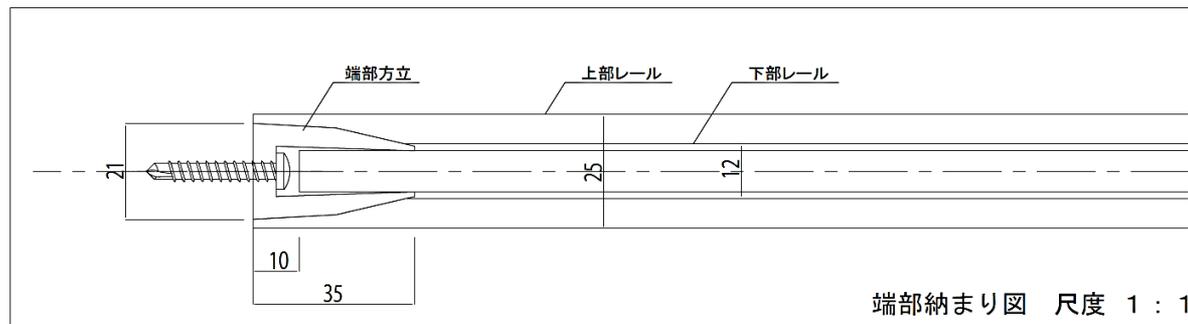
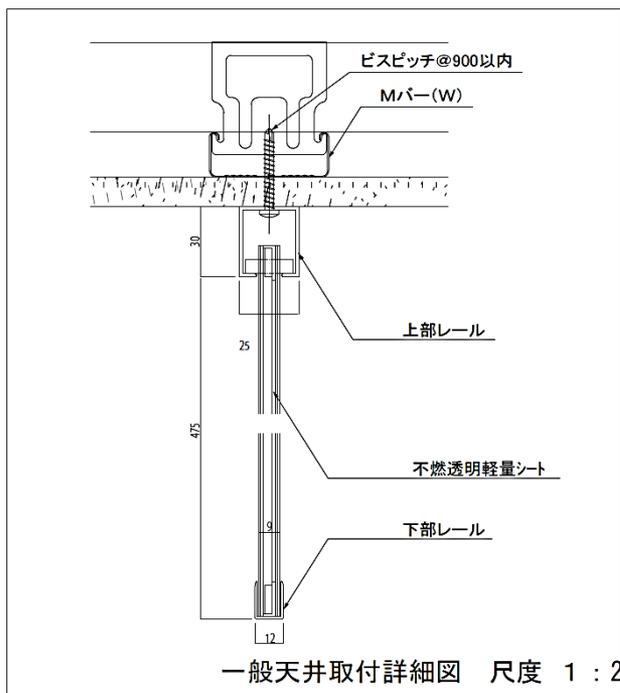
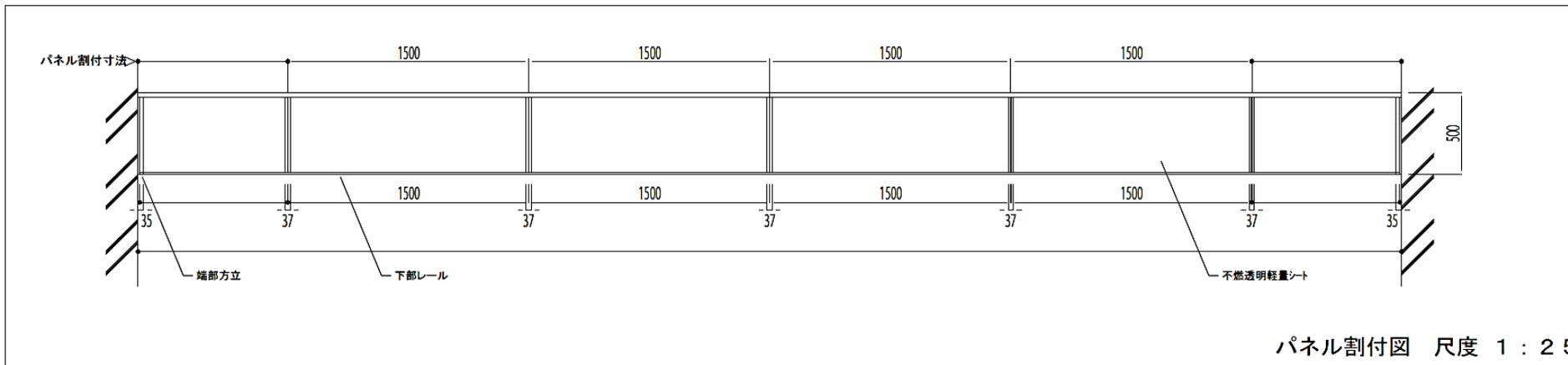


■端部ジョイント金物



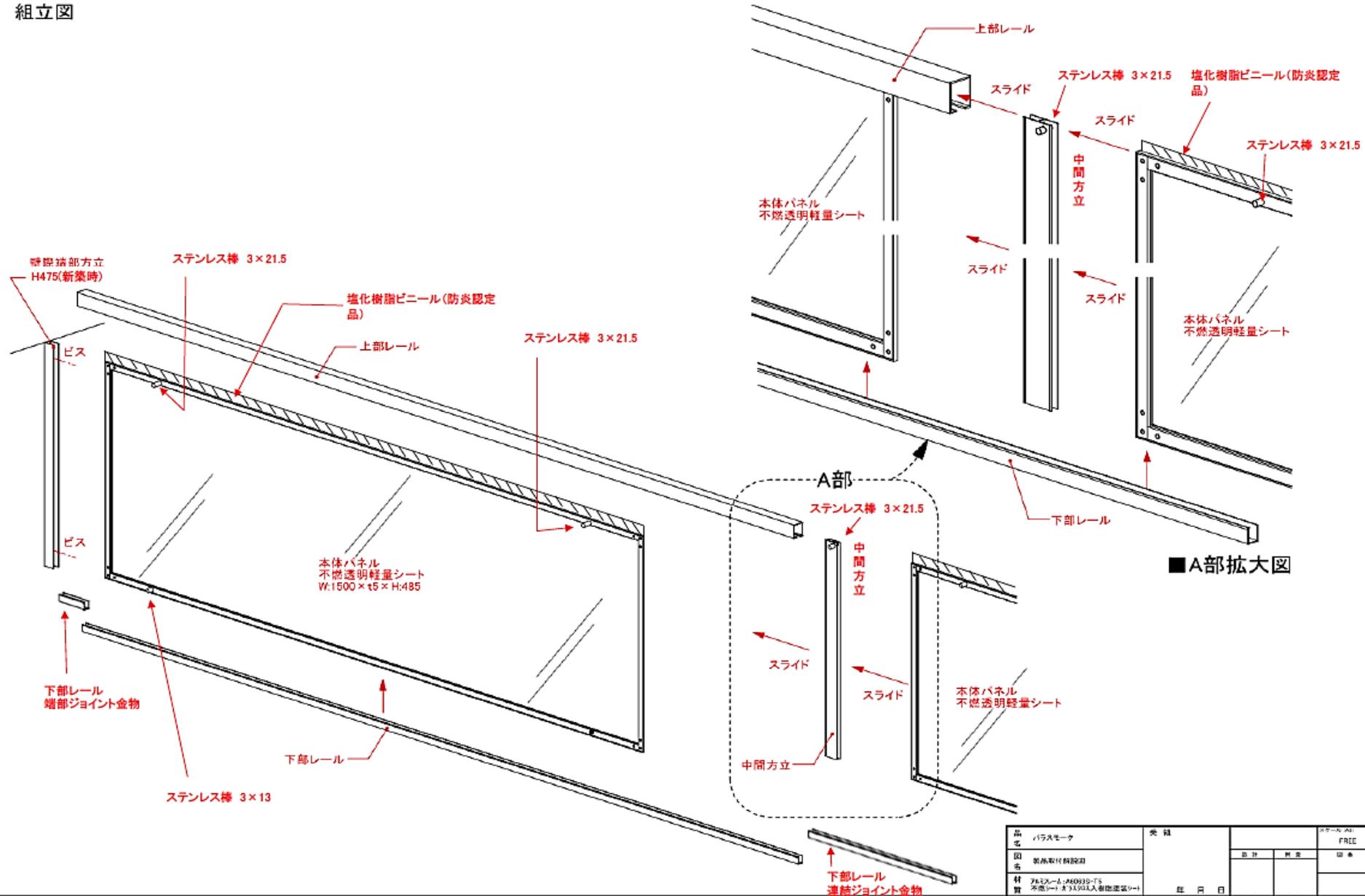
■下部レール連結ジョイント金物





パネルタイプ標準図

組立図



■A部拡大図

品名	ガラスモック	発注	備考	標準価格	FREE
図名	取付取付取付取付	部材	数量	単位	円
材質	アルミ: A: 6063-T5 不燃シート: 3A 999A 不燃透明軽量シート	年月日			

■ ガラス撤去



* 商品及び什器の養生

* 仮設材の設置（什器等への接触に注意）

* 下部レールの取り外し。

* 各シール切り。（シールごみの散乱に注意）

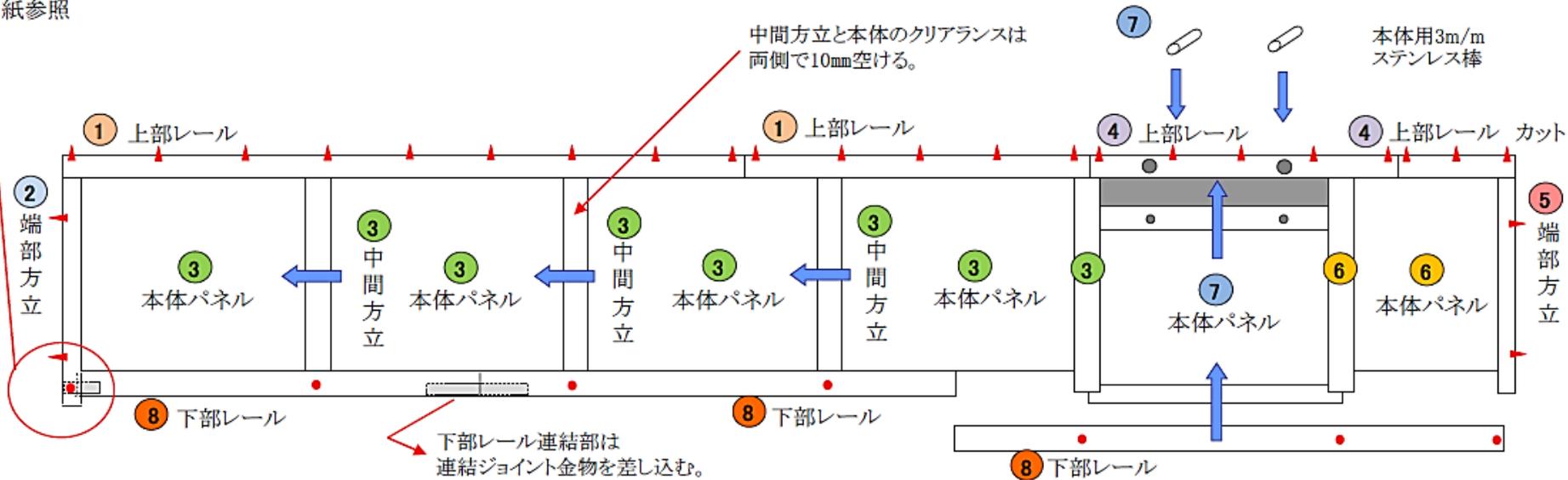
* ガラスの取り外し。（ガラスの落下に注意）

* ガラスの受け渡し。（持ち運びに注意）

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照

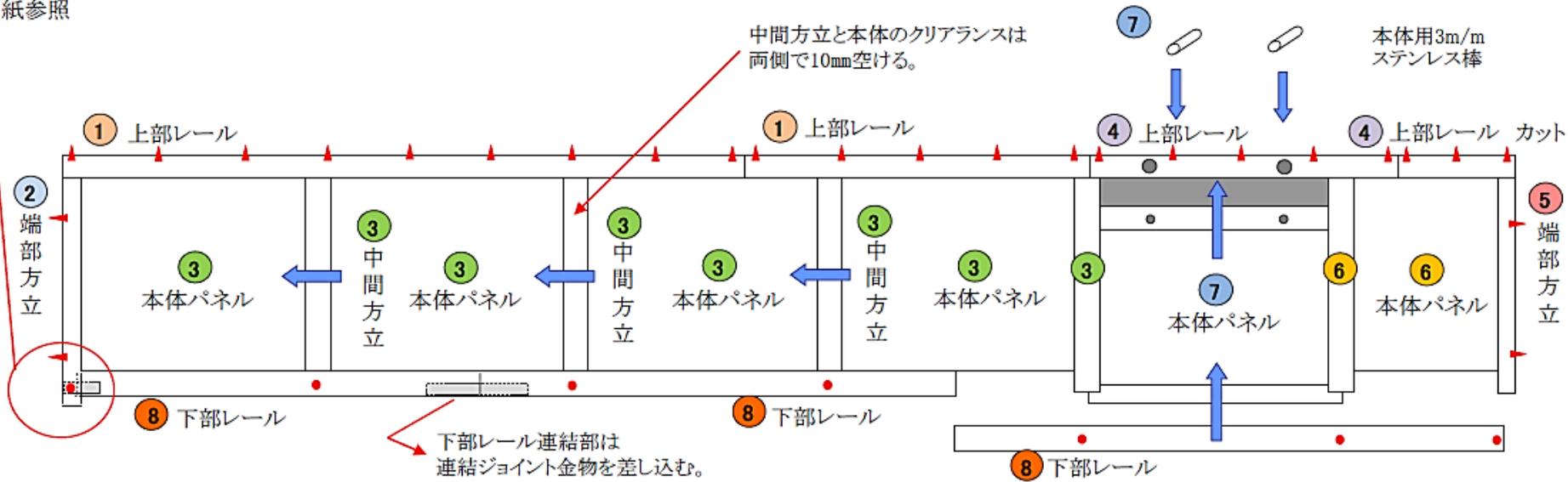


- 1 上部レールを改修の場合は既存レールの下に、新築の場合は下地確認し、テックスビス(303ピッチ以内)で取り付ける。
- 2 端部方立を壁面に取り付ける。(上下2ヶ所のビス留め(35mm以上)と接着剤を併用して留め付ける。)
(※端部ジョイント金物は端部方立にビス留めする。端部方立の下端は端部ジョイント金物の下端より5mm伸ばして納める。)
- 3 防煙垂壁本体と中間方立それぞれに3φ×21.5mmのステンレス棒(ダボピン)を差し込み
上部レール内にW1,500のパネルを4枚スライドさせて取り付ける。
※本体パネル取付の際は、上端もしくは両端を持って取り付ける様にする。下端は極力持たない様にする。
※シャッターライン際の防煙垂壁に関しては、揺れ防止の為、振れ止め金具を取り付ける必要がある→ 9mで2ヶ所・12mで3ヶ所
- 4 残りの上部レールを計測し、カットした上部レールをテックスビス(303ピッチ以内)で取り付ける。
- 5 端部方立を壁面に取り付ける。(上下2ヶ所のビス留め(35mm以上)と接着剤を併用して留め付ける。)
- 6 上部レール側面へダボピンを通す穴をあけ、端部寸法にカット加工した本体パネルと中間方立を取り付ける。
- 7 最後にW1,500の本体パネルを穴加工した上部レールから、ダボピンを取り付ける。
上部レールの穴加工部分に関しては、シルバーヘアライン仕上のアルミテープ又は、付属のドットシールで塞ぐ。
- 8 全体のバランスを取った後、下部レールを装着する。
下部レールの取付に関しては、別紙の「下部レール取付要領」を参照。
※下部レール取付の際、2,800mm～2,900mmで始め、中間方立部にジョイントが重ならない様にする。
また、防煙垂壁本体にビスを打ったり、ビスが干渉したりしない様に取り付ける。
- 9 養生フィルムは施工完了後にゆっくり剥がす。(完了前に剥がすと汚れが付着します。)

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



- ・ 図面で鉄骨で確認
- ・ ニードルで確認
(改修図面で有無確認)



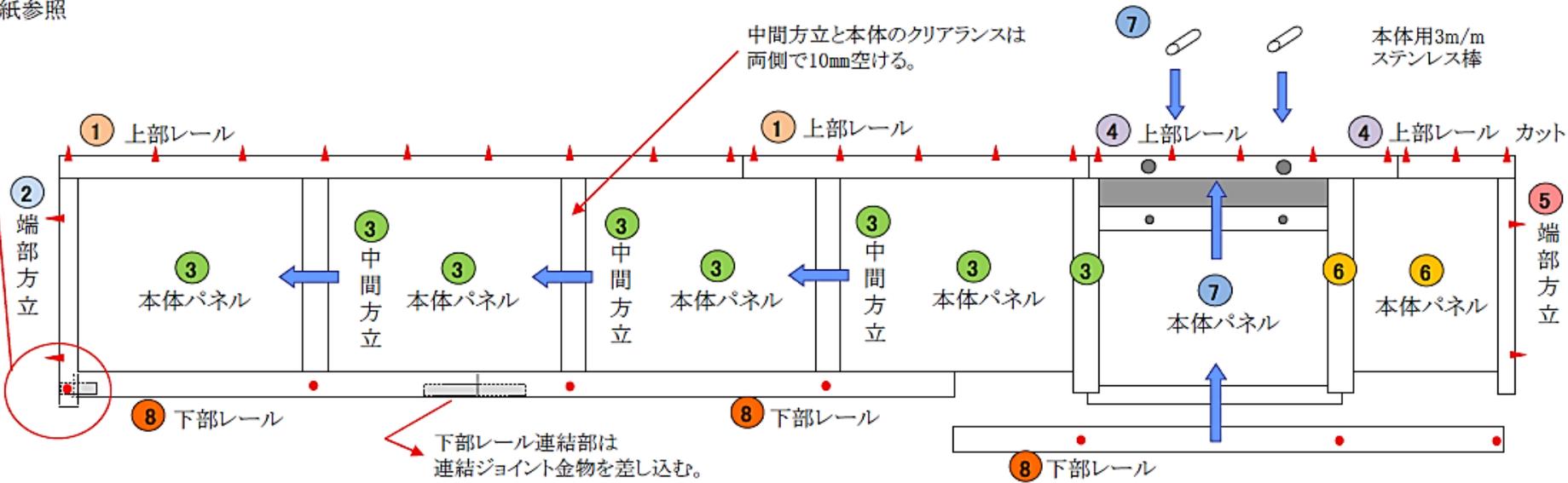
1 : 上部レールを改修の場合は既存レールの下に、新築の場合は下地確認し、**テックスビス(303ピッチ以内)**で取り付ける。

※上部レール取付及び条件説明

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



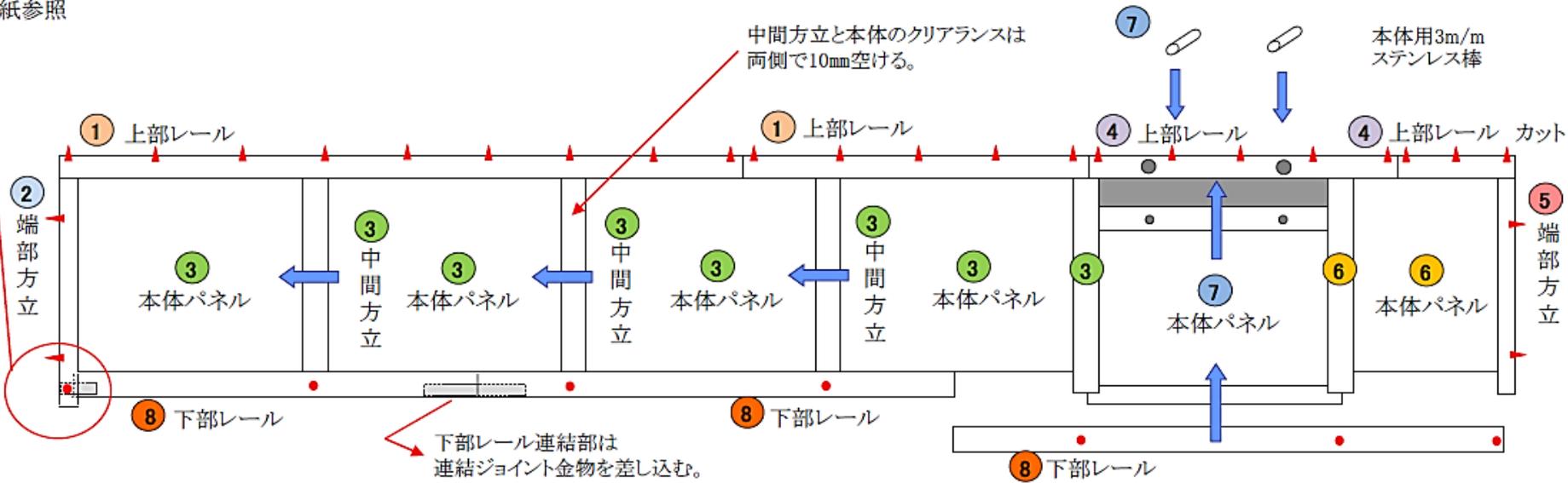
両面テープで先につけて
ビス内(位置決め)

- 2 端部方立を壁面に取り付ける。
(上下2ヶ所のビス留め(35mm以上)と接着剤を併用して留め付ける。)
(※端部ジョイント金物は端部方立にビス留めする。
端部方立の下端は端部ジョイント金物の下端より5mm伸ばして納める。)

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



パネル



ダボピン



ダボピン

3

防煙垂壁本体と中間方立それぞれに $3\phi \times 21.5\text{mm}$ のステンレス棒(ダボピン)を差し込み上部レール内にW1,500のパネルを4枚スライドさせて取り付ける。
※本体パネル取付の際は、上端もしくは両端を持って取り付ける様にする。

下端は極力持たない様にする。

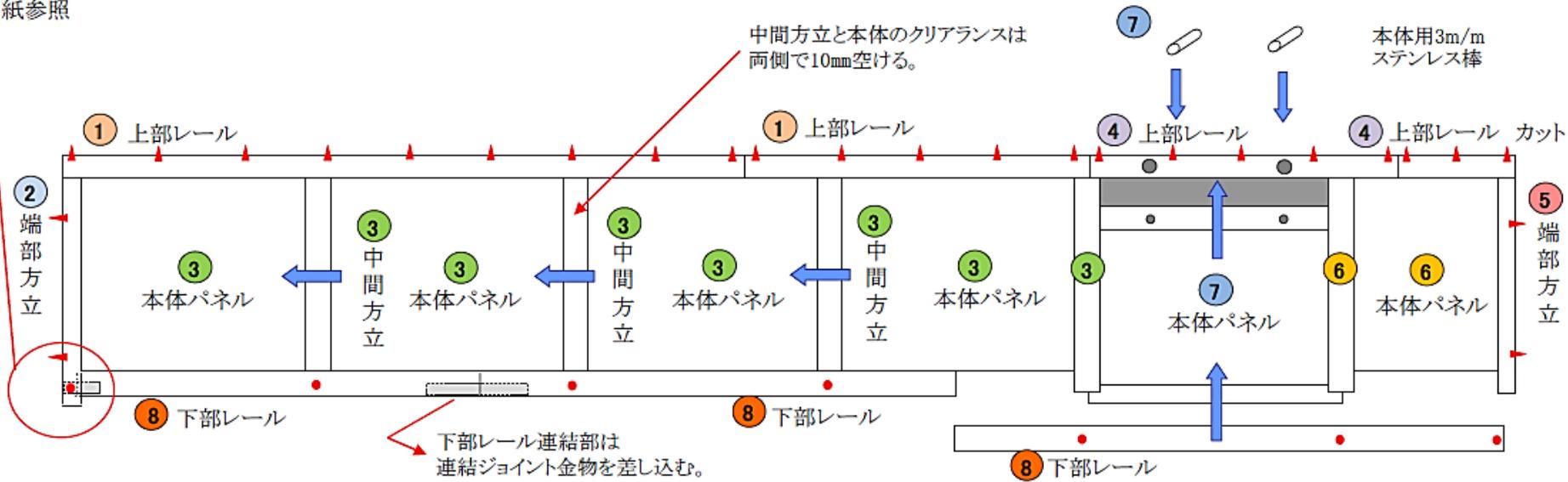
※シャッターライン際の防煙垂壁に関しては、揺れ防止の為、

振れ止め金具を取り付ける必要がある → 9mで2ヶ所・12mで3ヶ所

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



* 上部レール (真物 3000mm) をビス (4/40) にて 500mmピッチで取り付け。(隙間に注意)

* 端部方立てをビス (40/40) にて取り付け (隙間は、シリコン処理)

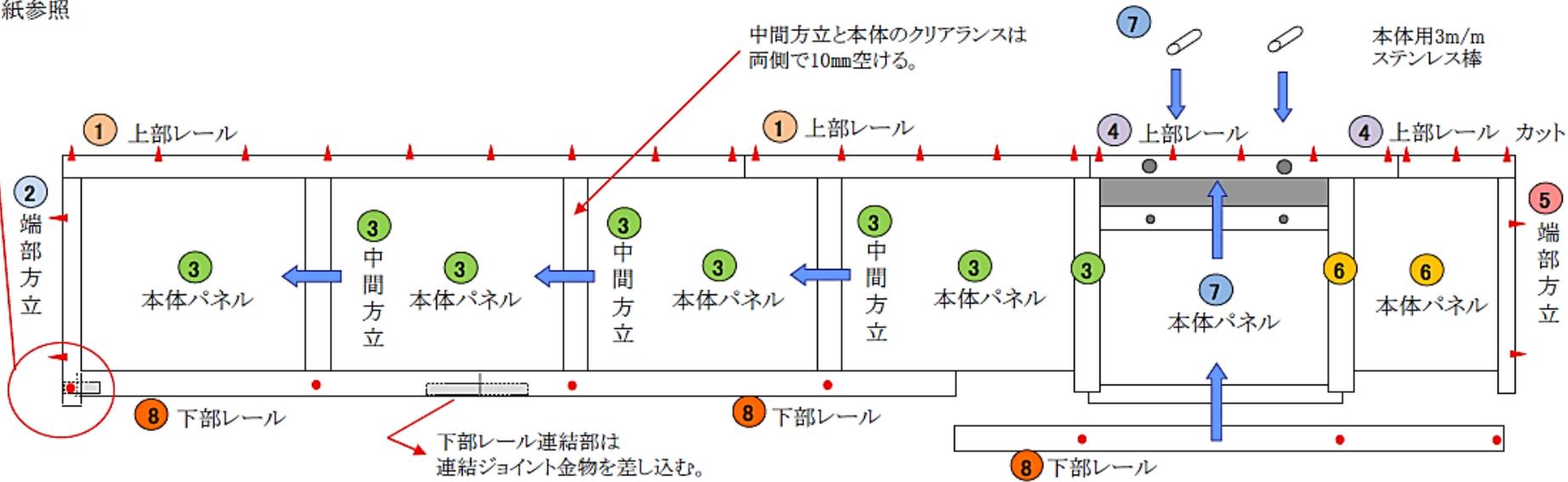
* 役物上部レール採寸押切カーターにて加工し取り付け。(寸法に注意)

4 : 残りの上部レールを計測し、カットした上部レールをテックスビス (303ピッチ以内) で取り付ける。

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



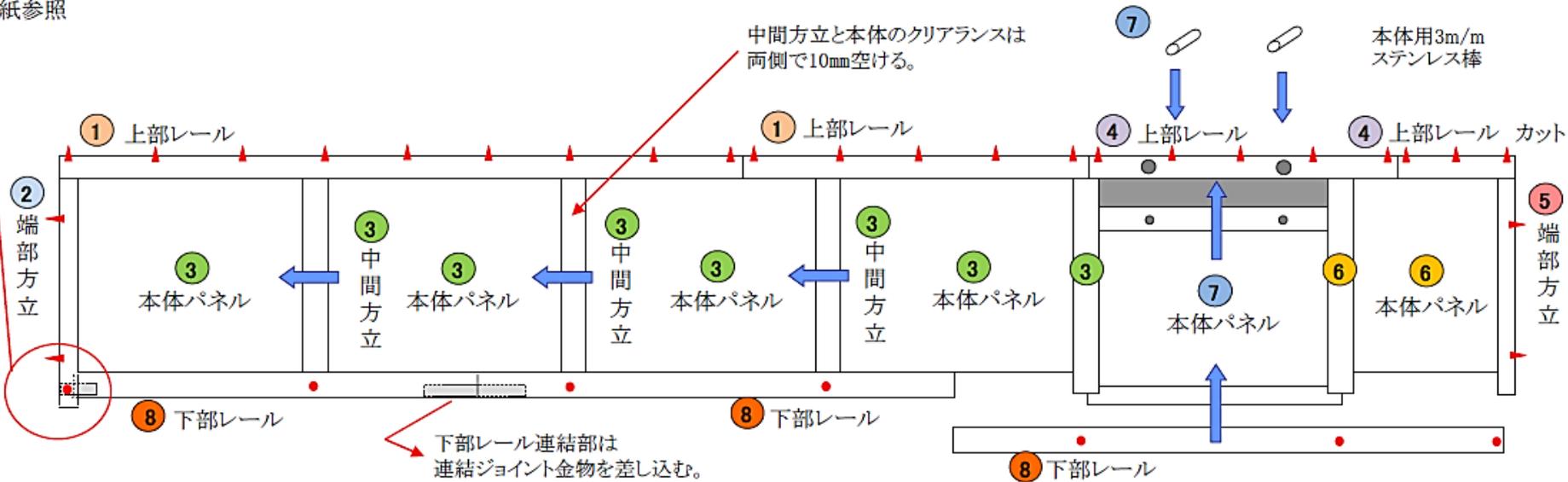
両面テープで先につけて
ビス内(位置決め)

- 5 反対側の端部方立を壁面に取り付ける。
(上下2ヶ所のビス留め(35mm以上)と接着剤を併用して留め付ける。)

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

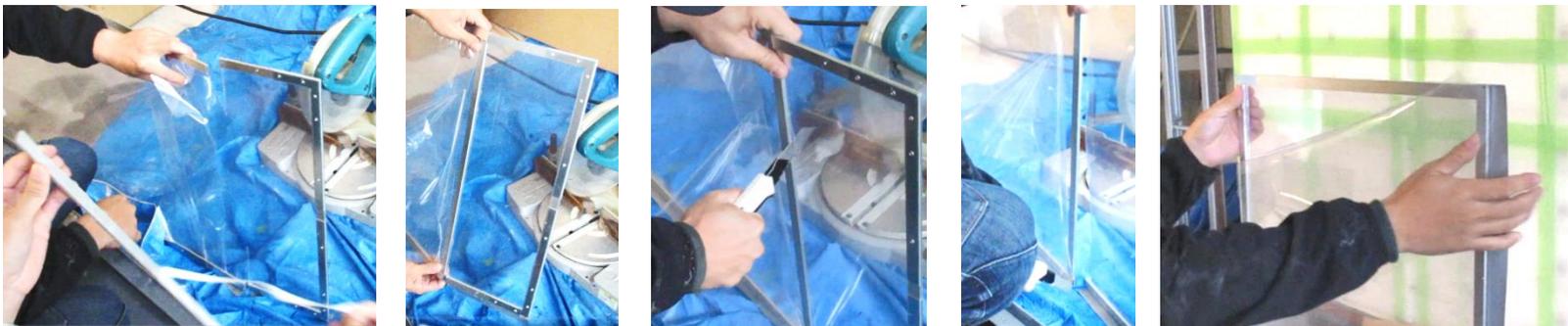
※別紙参照



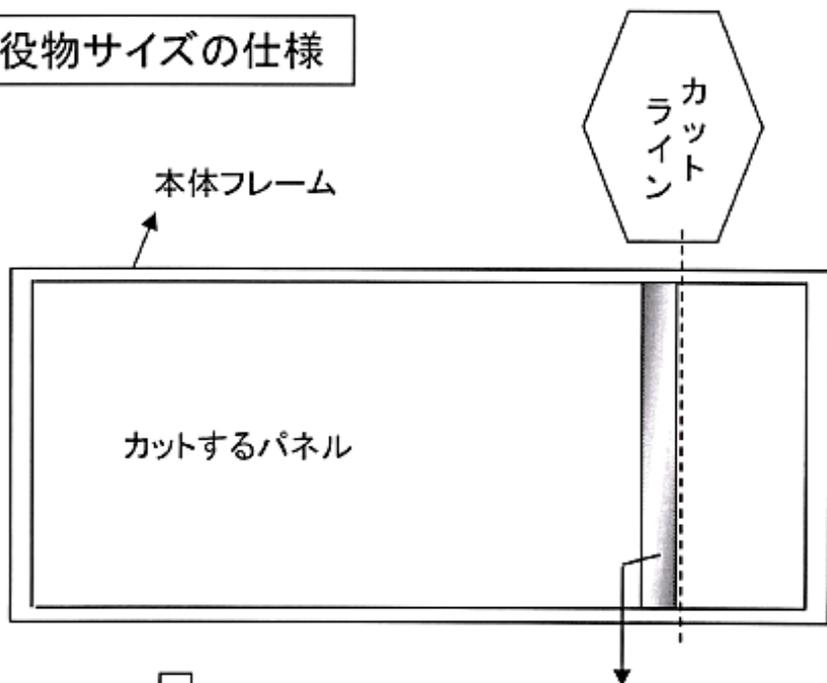
6: 上部レール側面へダボピンを通す穴をあけ、
端部寸法にカット加工した本体パネルと中間方立を取り付ける。



パネル調整・加工方法 ※カット方法詳細 次ページ 参照

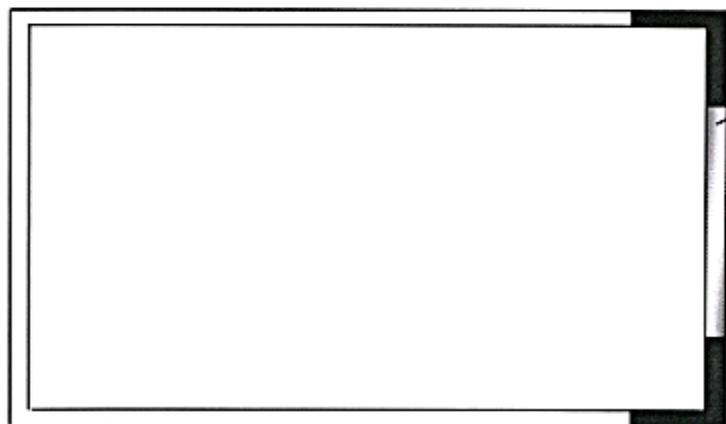


役物サイズの仕様



- ①カットしたい個所にマークをする。
- ②カット用の「フラットバー」を貼り付ける。
- ③カットラインに添って「フレーム」(押し切り)「フィルム」(カッターナイフ)をカットする。

カット用のフラットバー(アルミ)…両面テープが貼付されているので
ラインの内側に貼付ける。



貼付された「フラットバー」

コーナー金具

- ④「フラットバー」と本体「フレーム」を「コーナー金具」にて留め付ける。(表裏、上下に貼り付ける)
よってコーナー金具は4枚必要です。
- ⑤カットした部分は端部側に使うと良いと思います。

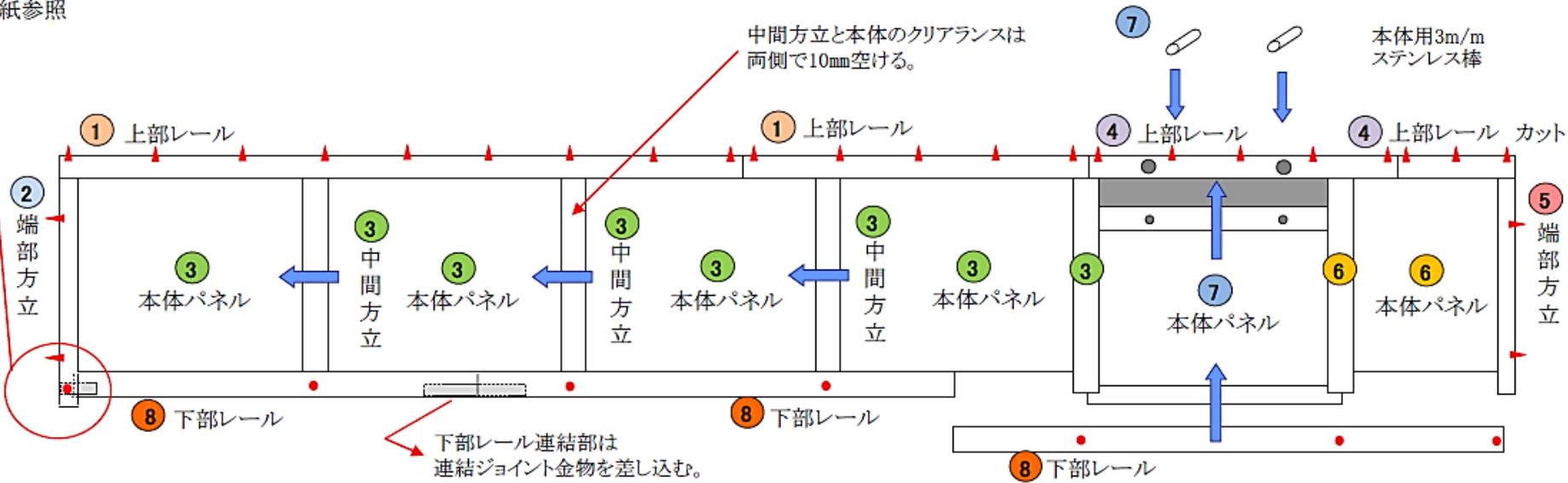


…裏面に両面テープ貼付

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



* 真物パネル (H 4 8 5 * W 1 5 0 0) 専用のダボピンにて取り付け。

* 中間方立てを専用のダボピンにて取り付け。
(パネルとの取り合い及び立に注意)

* 端部方立てに差し込む。(クリアランスに注意)

* 役物パネル採寸専用補強材を用いて加工し取り付け。
(寸法及び汚れに注意)

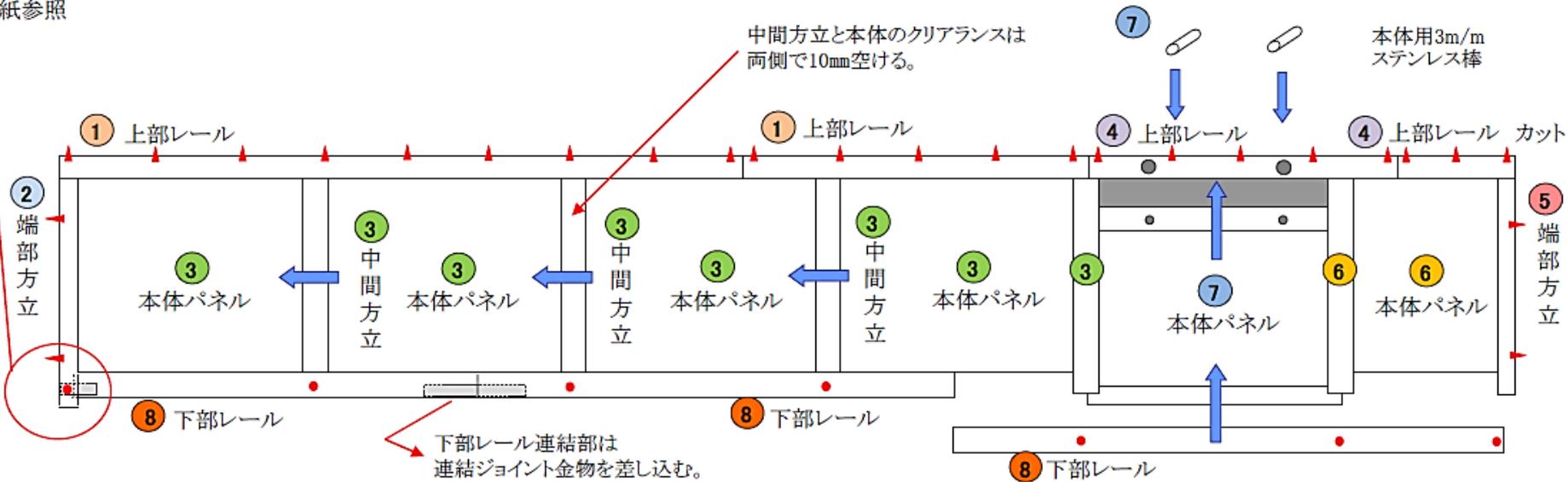


7: 最後にW1,500の本体パネルを穴加工した上部レールから、ダボピンを取り付ける。
上部レールの穴加工部分に関しては、**シルバーヘアライン仕上のアルミテープ**又は、**付属のドットシールで塞ぐ。**(穴隠しシール)

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



■ 下部レール取り付け

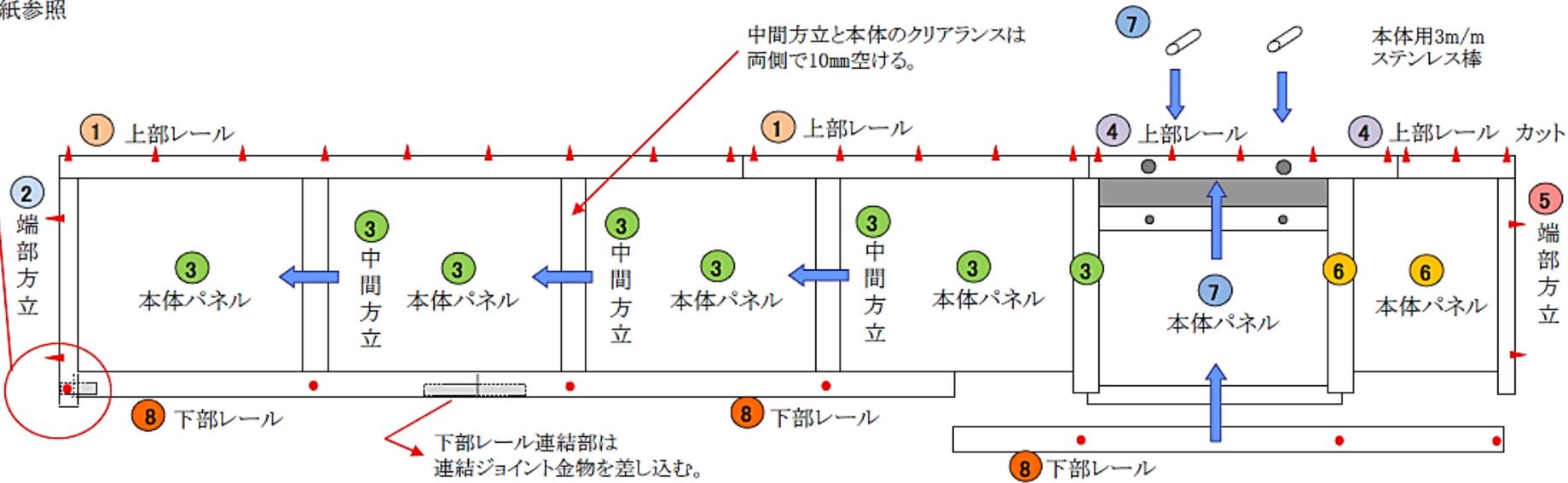
- * 下部レール（真物 3000mm）をパネルのして穴に下部レール専用ダボピンにて取り付け。
- * 下部レールと下部レールに下部レールジョイントを差し込む。（隙間に注意）
- * 端部方立てに端部ジョイントと下部レールを差し込みビス（3/10）にて止める。（クリアランスに注意）
- * 下部レールと中間方立てをビス（3/10）にて止める。（立に注意）
- * 役物下部レール採寸押切カーターにて加工し取り付け。（寸法に注意）

- 8** : 全体のバランスを取った後、下部レールを装着する。
下部レールの取付に関しては、別紙の「下部レール取付要領」を参照。
※下部レール取付の際、2,800mm～2,900mmで始め、
中間方立部にジョイントが重ならない様にする。
また、防煙垂壁本体にビスを打ったり、ビスが干渉したりしない様に取り付ける。

取付施工要領書

● ▲ アルミ部材留め付け用ビス位置

※別紙参照



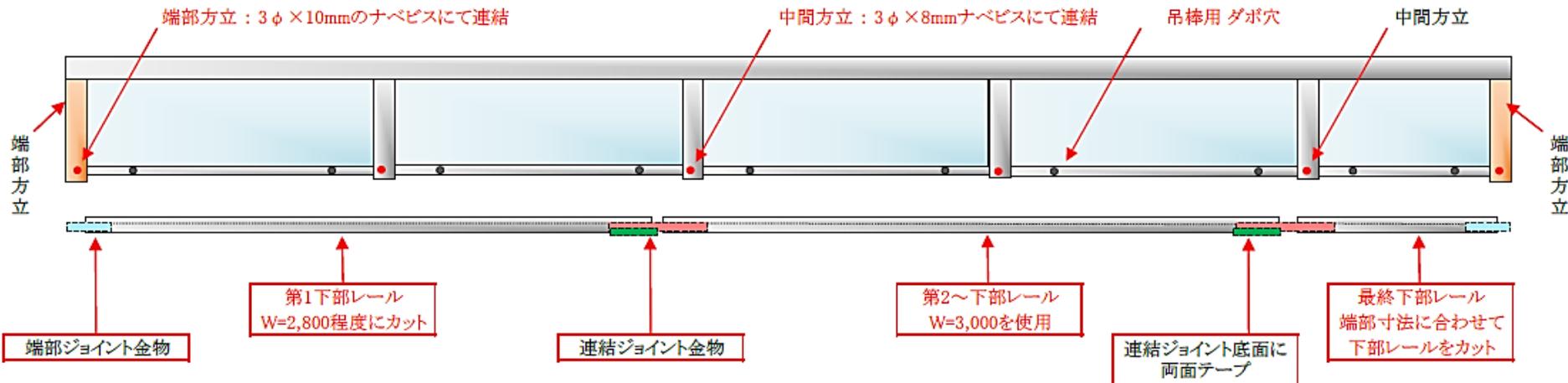
■引っ張り検査

* 端部方立が壁面に固定されているか引っ張り検査を行う

⑨：養生フィルムは施工完了後にゆっくり剥がす。
(完了前に剥がすと汚れが付着します。)

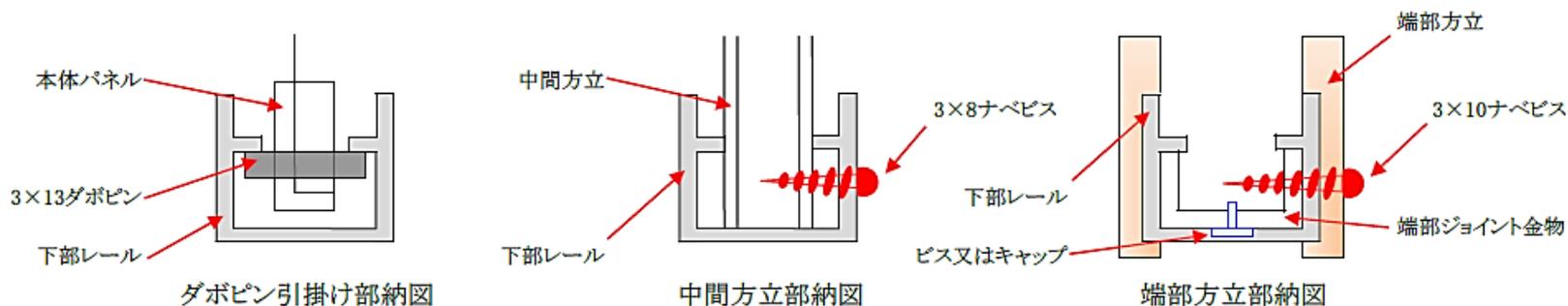
～作業はこれで完了です～ 次ページより下部レールの取付要領です

下部レール取付要領

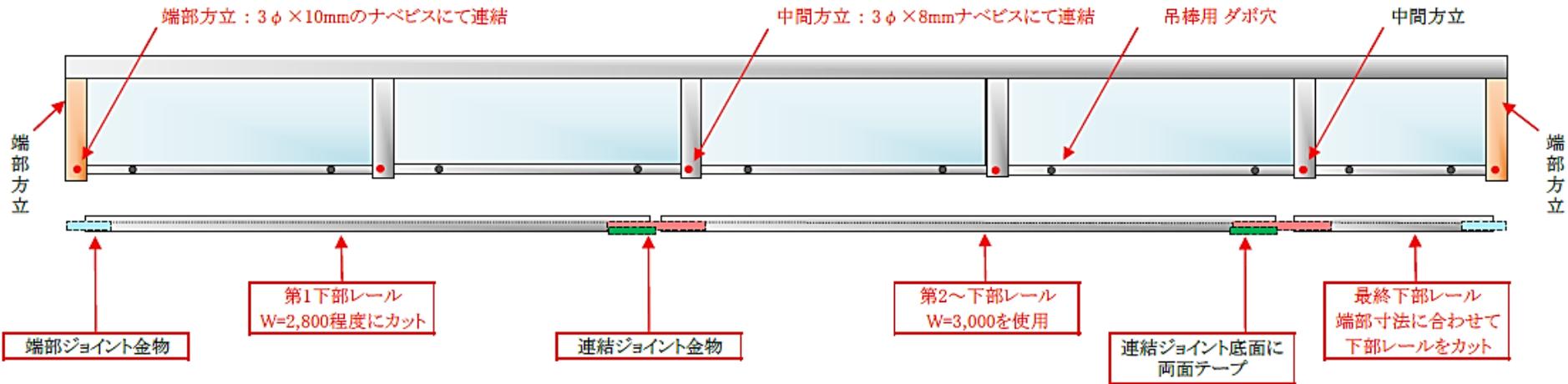


- ① 下部レール(L = 3,000mm)を2,800mm～2,900mm程度にカットし、中間方立からジョイント部をずらす形で第1下部レールを取り付ける。その際、本体パネルの下部ダボ穴に、3φ×13mmダボピンを左右どちらか1ヶ所に装着し、下部レール突起部に引掛ける。(以下の各本体パネルも同様に、3φ×13mmダボピンにて下部レールに引掛ける。)
- ② 第2下部レールよりL = 3,000mmを使用し、最後のレールは必要な長さにカットし取り付ける。また、各レールには付属の連結ジョイント金物を差し込み連結する。※連結ジョイント金物は底面に両面テープ150mmを張り付け、下部レールと固定する。
- ③ 端部には付属の端部ジョイント金物を差し込み、最後に端部方立の隙間に飲み込ませ、端部方立へ突きつけて納める。(※下図参照)
- ④ 下部レールの位置を整えた後、中間方立に3φ×8mmナベビスを打ち、下部レールと連結させる。この時、中間方立部分で3～5mmのクリアランスを確保し、出来るだけビスが本体パネルに緩衝しない様にビス留めする。最後に、端部方立と端部ジョイント金物を3φ×10mmナベビスにて連結する。

■ 下部レール取付断面納図

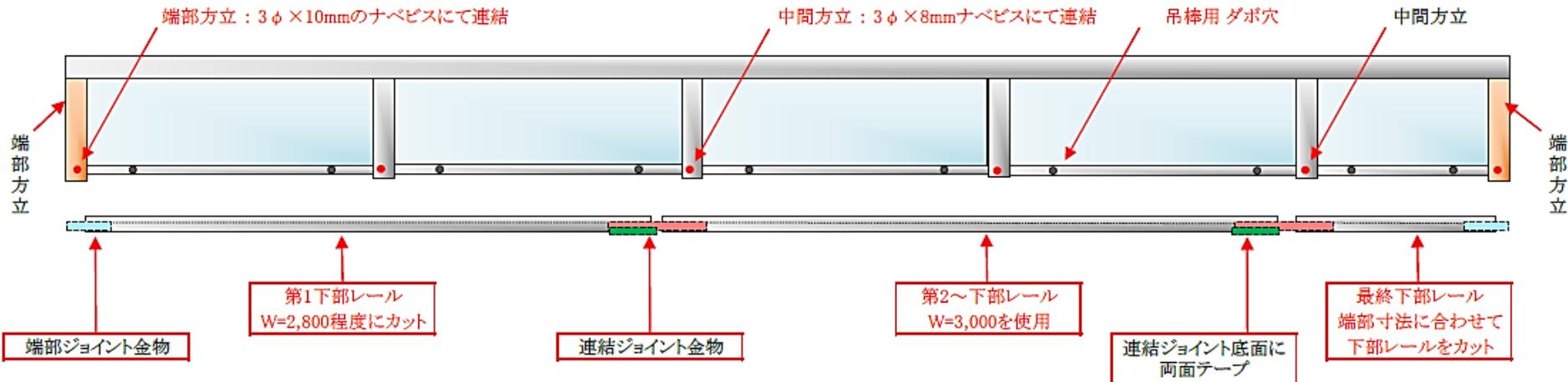


下部レール取付要領



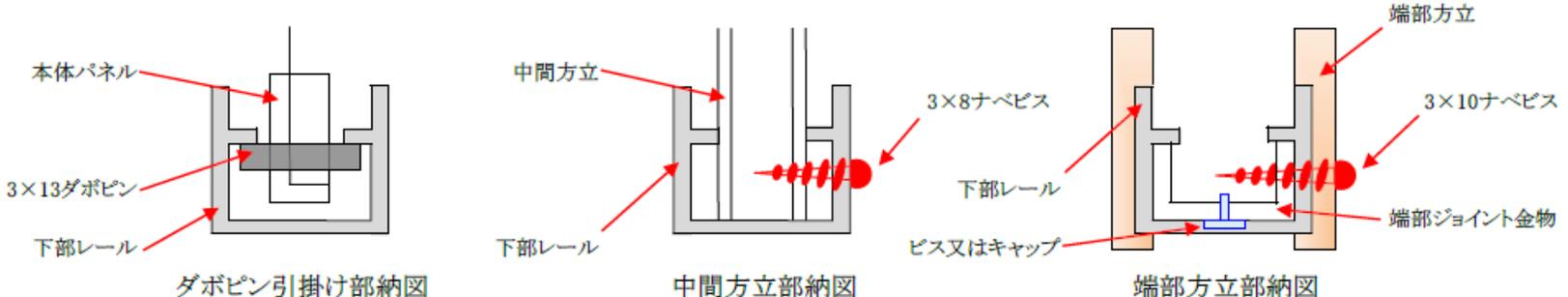
- ①：下部レール(L = 3,000mm)を2,800mm～2,900mm程度にカットし、中間方立からジョイント部をずらす形で第1下部レールを取り付ける。その際、本体パネルの下部ダボ穴に、3φ×13mmダボピンを左右どちらか1ヶ所に装着し、下部レール突起部に引掛ける。
(以下の各本体パネルも同様に、3φ×13mmダボピンにて下部レールに引掛ける。)
- ②：第2下部レールよりL = 3,000mmを使用し、最後のレールは必要な長さにカットし取り付ける。また、各レールには付属の連結ジョイント金物を差し込み連結する。
※連結ジョイント金物は底面に両面テープ150mmを張り付け、下部レールと固定する。

下部レール取付要領

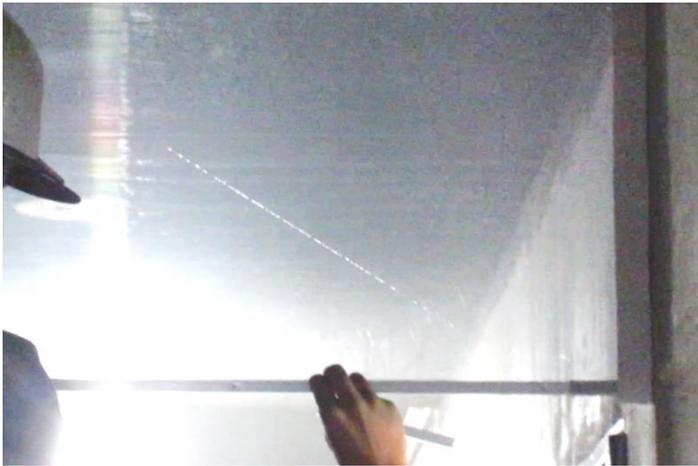
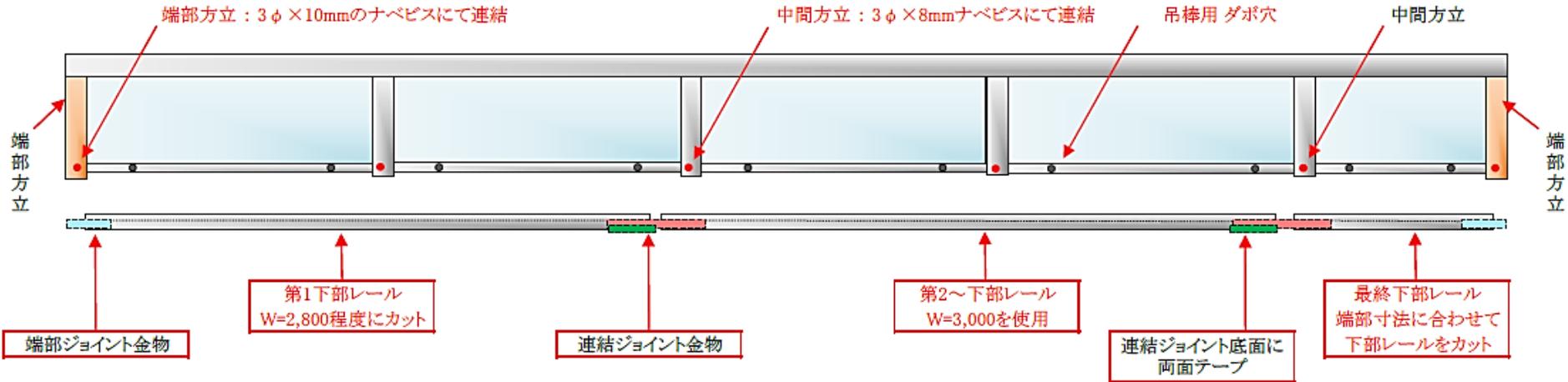


③：端部には付属の端部ジョイント金物を差し込み、最後に端部方立の隙間に飲み込ませ、端部方立へ突きつけて納める。(※下図参照)

■ 下部レール取付断面納図



下部レール取付要領

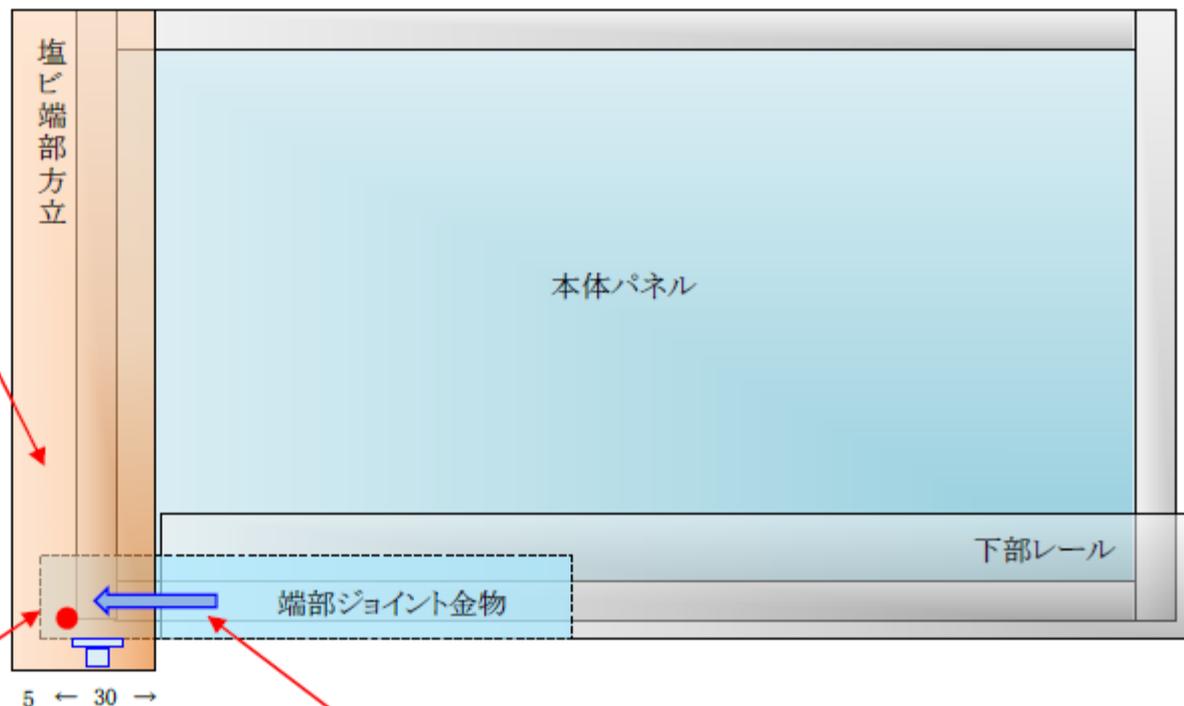


- ④ : 下部レールの位置を整えた後、中間方立に3φ × 8mmナベビスを打ち、下部レールと連結させる。
この時、中間方立部分で3~5mmのクリアランスを確保し、出来るだけビスが本体パネルに緩衝しない様にビス留めする。
最後に、端部方立と端部ジョイント金物を3φ × 10mmナベビスにて連結する。

端部方立・下部レール取合部分の施工方法

本体パネルは端部方立(壁・柱面)へ突きつけずに

10mmのクリアランスを取る。



端部方立と端部ジョイント金物を

3φ×10mmナベビスにて留め付ける

※ビスは本体パネルに緩衝させない様に納める。

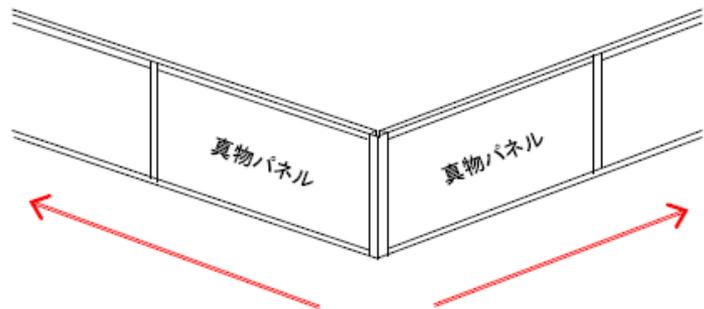
端部ジョイント金物をスライドさせ

端部方立に突きつけて納める。

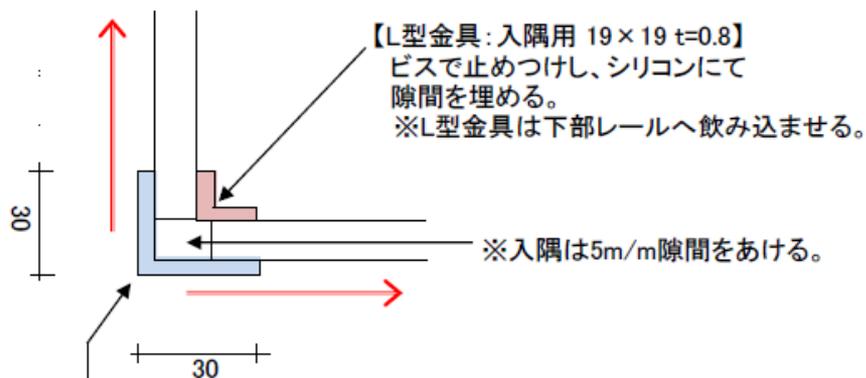
端部方立下端は下部レール下端より5mm程度伸ばして納める。

L型コーナー・T型コーナー施工要領

【L型コーナーの場合】

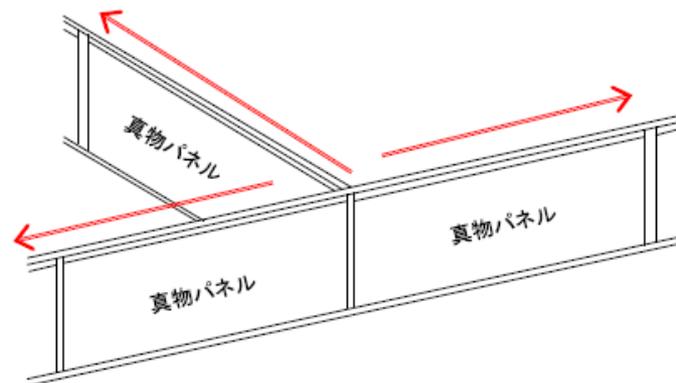


※L型コーナー部の本体パネルはコーナー部分を起点に真物パネルでスタートする。

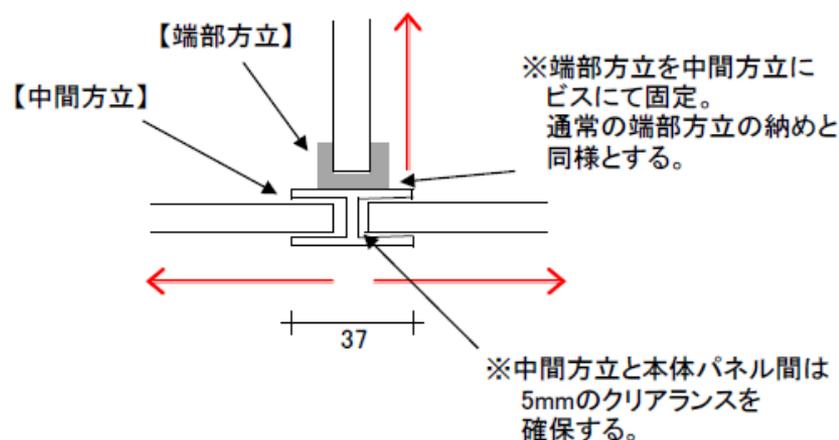


【L型金具：出隅用 30×30 t=0.8】
ビスで止めつけし、シリコンにて隙間を埋める。
※L型金具は下部レールへ飲み込ませる。

【T型コーナーの場合】



※T型コーナー部の本体パネルはコーナー部分を起点に真物パネルでスタートする。



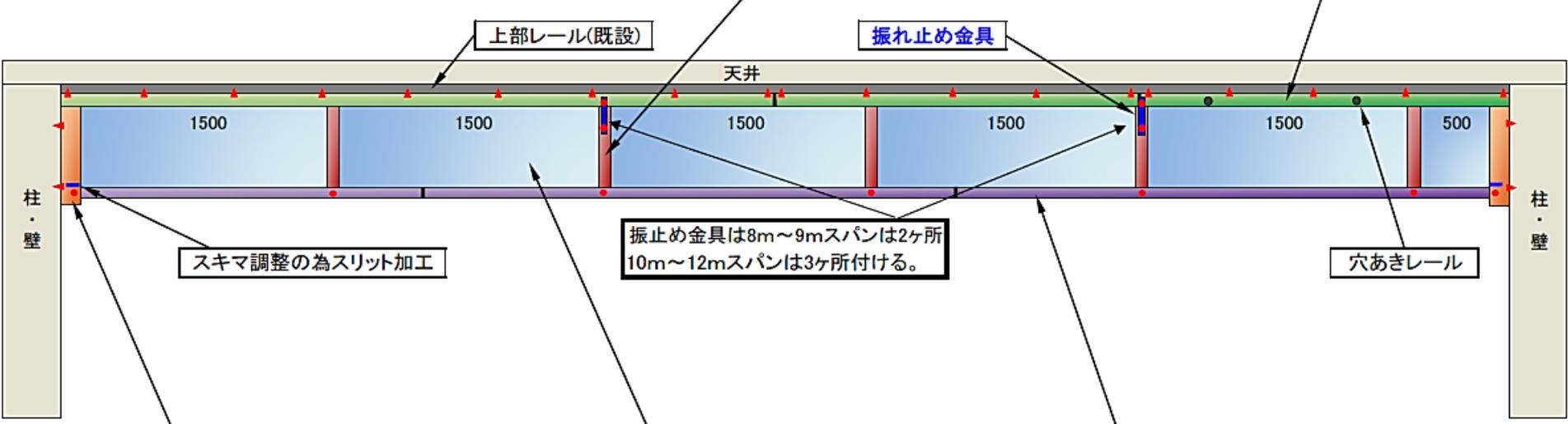
パラスモーク 施工仕上がりチェック表

物件名 : _____

■ 施工後検査	
・移動した什器、商品は元の場所に戻されているか	
・施工範囲、加工場の清掃は行われているか	
・養生の撤去漏れはないか	
・資材、工具、足場が店内に残されていないか	
・休憩所はキレイに片付けられているか	

■ 中間方立	
・本体パネルのアルミフレームが見えないか	
・シャッター際のスパンに取付が必要な揺れ防止用の 振れ止め金具は取付られている(9mで2ヶ所/12mで3ヶ所)	
・汚れていないか	
・本体フレームの飛び出しは左右各4mm以下か	
・本体フレームとのクリアランスは確保出来ているか	

■ 上部レール(新規)	
・スキマは出来ていないか	
・穴あきレールの穴はアルミシール等で塞がれているか	
・天井面の納まりに問題はないか →スキマ、汚れ、塗装の剥げ等	
・汚れていないか	

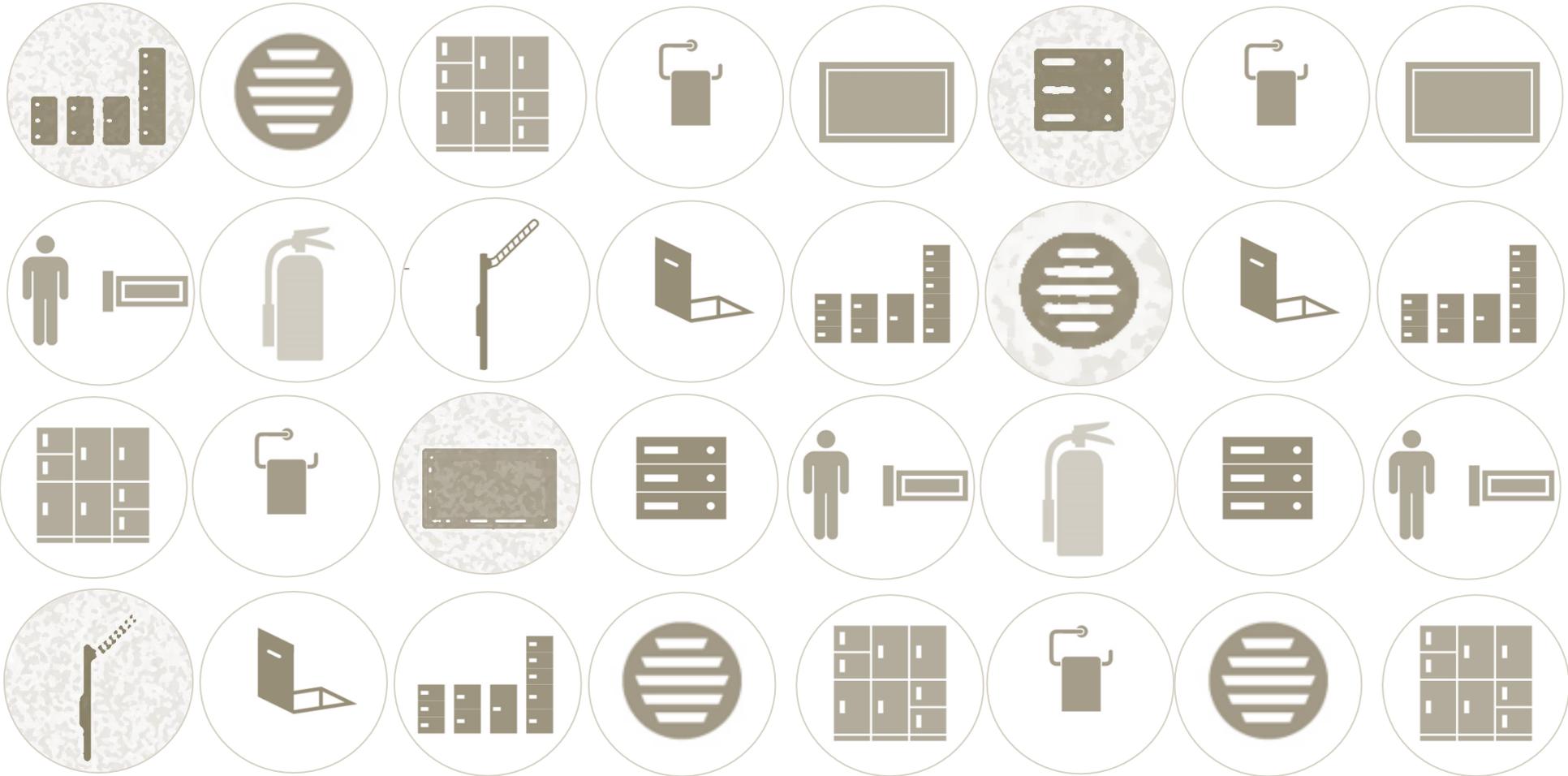


■ 端部方立	
・軽く叩いてみて動かないか	
・本体パネルは方立内に納まっているか	
・本体パネルに沿う様にスリットは入っているか	
・壁面の納まりに問題はないか →スキマ、汚れ、クロスめくれ、塗装の剥げ等	
・下部レールより5mm伸ばしで取付られているか	

■ 本体パネル	
・ガラス撤去範囲のパネルの取付漏れはないか	
・フィルムに汚れ、キズはないか	
・フィルムにシワはないか	
・養生フィルムは撤去されているか	
・パネルの通りに問題はないか	

■ 下部レール	
・動かない様に固定されているか	
・端部方立にナベビス(3mm × 10mm) ● 留められているか	
・中間方立にナベビス(3mm × 8mm) ● 留められているか	
・1本辺りに2ヶ所以上のナベビス ● 留めがされているか	
・下部レールジョイント部にスキマはないか	
・汚れていないか	

会社名 : _____ 確認者 : _____



豊かな社会へのパートナー 神栄グループ

神栄ホームクリエイト株式会社

本社 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2丁目3番34号
TEL(06)6789-2321(代表) FAX(06)6789-2391

東京営業所 〒120-0015 東京都足立区足立4丁目13番9号ベルビュービルディング7F
TEL(03)5845-3870(代表) FAX(03)5845-3871

福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目8番6号第5ガーデンビル2F
TEL(092)432-8284(代表) FAX(092)432-8486

ガラス営業課 〒577-0016 大阪府東大阪市長田西2丁目3番34号
TEL(06)6789-2331(代表) FAX(06)6789-2332

<http://www.shinyei-shc.co.jp> E-mail:create@shc.shinyei.co.jp